

1. 哺乳にかかわる調査結果報告

過日、フリーストール牛舎を中心に仔牛哺乳に関する調査を行いました。今回の調査の主な目的は、哺乳量（哺乳ピーク時でのミルクからの栄養摂取量）を知ることが第一の目的でした。

結果から申し上げますと、仔牛に与えられているミルク（乾物摂取量）は、実に幅広いもので、農場によって大きな開きがありました。その摂取量は、粉体としては、一日500g（250g x 2回）から1200g以上まで様々でした。図1は現在、最も給与量を多く推奨している、強化哺乳プログラムのピーク時の一日当たり可消化蛋白ADP（見掛け上の可消化蛋白量 g = Apparent Digestible Protein）に基づく予測増体量（ADP allowable Gain）と、今回調査したもののから、幾つかの代表的な量を選び、それから算出したものを比較しています。余りにもかけ離れている摂取量（供給量）に驚きがあります。この栄養摂取量の差が現場のそれぞれの仔牛の体にどう現れているのか、今回は結果だけを報告し詳しくは次号とします。調査にご協力いただきました、皆さんにお礼を申し上げます。

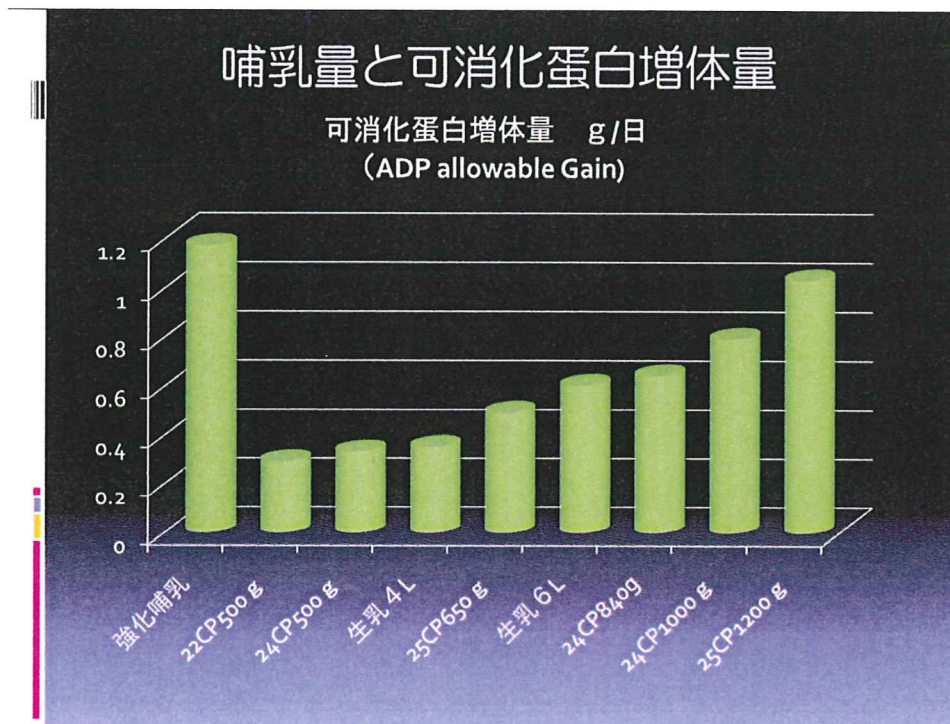


図1

皆さんの農場の仔牛の給与量はどのあたりですか？

黒崎